

**製品名: CD15 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM84938**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:100, ICC 1:50-1:200
分子量	/

**抗原情報**

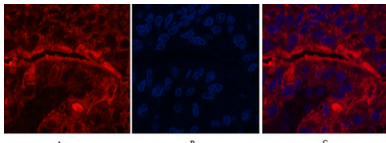
遺伝子名	CD15 FUT4; ELFT; FCT3A; Alpha-(1; 3)-fucosyltransferase; ELAM-1 ligand fucosyltransferase;
別名	Fucosyltransferase 4; Fucosyltransferase IV; Fuc-TIV; FucT-IV; Galactoside 3-L-fucosyltransferase
遺伝子 ID	2526.0
SwissProt ID	P22083
免疫原	CD15 の合成ペプチド

## 背景

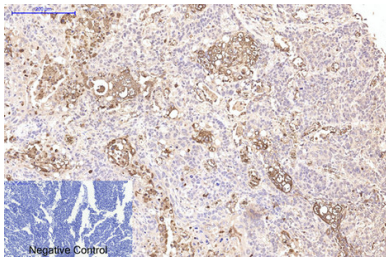
この遺伝子産物は、フコースを N-アセチルラクトサミン多糖類に転移させ、フコシル化糖鎖構造を生成します。この遺伝子は、シアリル化されていない抗原であるルイス x (CD15) の合成を触媒します。

## 研究分野

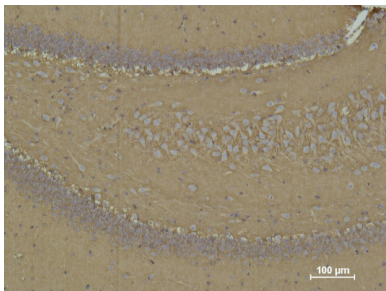
## 画像データ



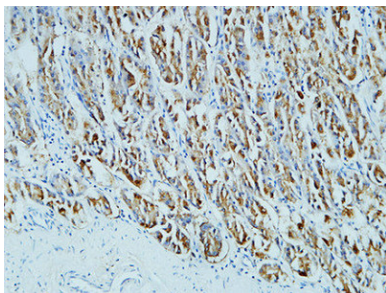
CD15 抗体 (赤) と DAPI (青) を使用したヒト肝臓癌組織中の CD15 の免疫蛍光分析。



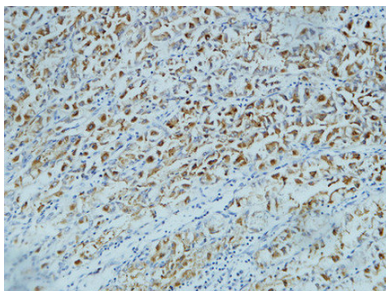
CD15 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



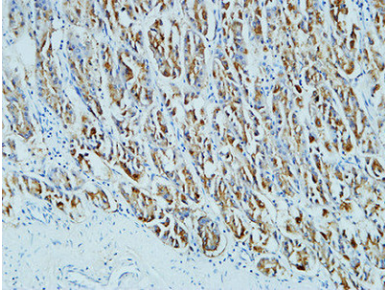
CD15 抗体を用いたパラフィン包埋ラット脳組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



CD15 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胃の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温 Tris-EDTA pH 8.0 を使用しました。



CD15 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胃の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温 Tris-EDTA pH 8.0 を使用しました。



CD15 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胃の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温 Tris-EDTA pH 8.0 を使用しました。